令和４年度（2022年度）
第21回宝塚市子ども議会
会議録

令和4年8月
宝塚市子ども未来部
子ども家庭室子ども政策課

目　　次

◇ 第21回宝塚市子ども議会会議録 …… 1

1　開会・開議・閉会 …… 1
2　出席議員 …… 1
3　答弁のため出席した者の職氏名 …… 2
4　議事日程 …… 2
5　一般質問一覧表 …… 3
6　座席表 …… 4

◇ 第21回宝塚市子ども議会 …… 5

1　開会 …… 5
2　議長あいさつ …… 5
3　市長あいさつ …… 5

【一般質問】

4　宝塚第一小学校　岩堀武夫議員 …… 6
5　小浜小学校　阪本梨阿議員 …… 7
6　仁川小学校　中井朋津議員 …… 9
7　売布小学校　土肥由茉議員 …… 10
8　長尾南小学校　宮部琴音議員 …… 13
9　中山台小学校　森居優太議員 …… 14
10　長尾台小学校　赤松遼珂議員 …… 15
11　小林聖心女子学院小学校　建石ゆかり議員 …… 17
12　良元小学校　高橋舞議員 …… 19
13　宝塚第一中学校　前村江美議員 …… 20
14　宝塚中学校　高雨橋議員 …… 21
15　長尾中学校　内藤早瑛議員 …… 23
16　西谷中学校　門脇元気議員 …… 24
17　小林聖心女子学院中学校　伊藤葵議員 …… 25
18　宝塚高等学校　藤原愛議員 …… 27
19　宝塚北高等学校　池田蒼生議員 …… 28
20　副議長あいさつ …… 29
21　閉会 …… 29

◇ 子ども議員委嘱状 …… 30

◇ 子ども議員アンケート結果 …… 31

◇ 子ども議会広報 …… 34

◇ 子ども議会集合写真

令和４年度　第２１回宝塚市子ども議会会議録

１　開　　会　　令和４年（２０２２年）８月１９日（金）　午後１時３０分
　　開　　議　　同　　日　　午後１時３０分
　　閉　　会　　同　　日　　午後３時３０分

２　出席議員（１６名）

	氏　名	学　校　名		氏　名	学　校　名
1	高橋（たかはし）　舞（まい）	良元小学校	9	建石（たていし）　ゆかり	小林聖心女子学院小学校
2	岩堀（いわほり）　武夫（たけお）	宝塚第一小学校	10	前村（まえむら）　江美（えみ）	宝塚第一中学校
3	阪本（さかもと）　梨阿（りるあ）	小浜小学校	11	高（こう）　雨橋（うきょう）	宝塚中学校
4	中井（なかい）　朋津（ともし）	仁川小学校	12	内藤（ないとう）　早瑛（さえ）	長尾中学校
5	土肥（どひ）　由茉（ゆま）	売布小学校	13	門脇（かどわき）　元気（げんき）	西谷中学校
6	宮部（みやべ）　琴音（ことね）	長尾南小学校	14	伊藤（いとう）　葵（あおい）	小林聖心女子学院中学校
7	森居（もりい）　優太（ゆうた）	中山台小学校	15	藤原（ふじわら）　愛（あい）	宝塚高等学校
8	赤松（あかまつ）　遼珂（りょうが）	長尾台小学校	16	池田（いけだ）　蒼生（あおい）	宝塚北高等学校

3　答弁のため出席した者の職氏名

役　　職	氏　　名
市　長	山﨑　晴恵
副市長	井上　輝俊
理事	赤井　稔
技監	小寺　寿充
経営改革推進担当部長	吉田　康彦
市民交流部長	上田　健
都市安全部長	池澤　伸夫
子ども未来部長	西垣　早百合

役　　職	氏　　名
環境部長	立花　　誠
産業文化部長	政処　剛史
教育長	五十嵐　孝
管理部長	高田　輝夫
学校教育部長	坂本　三好
社会教育部長	番庄　伸雄
上下水道事業管理者	福永　孝雄

※出席していただいた市議会議員

宝塚市議会議長　　三宅　浩二

宝塚市議会副議長　　浅谷　亜紀

4　議事日程

宝塚市子ども議会議事日程

令和４年（２０２２年）８月１９日（金曜日）午後１時３０分開議

日程	議案番号	件　　名	内　　容	
1		一般質問	一般質問一覧表のとおり	

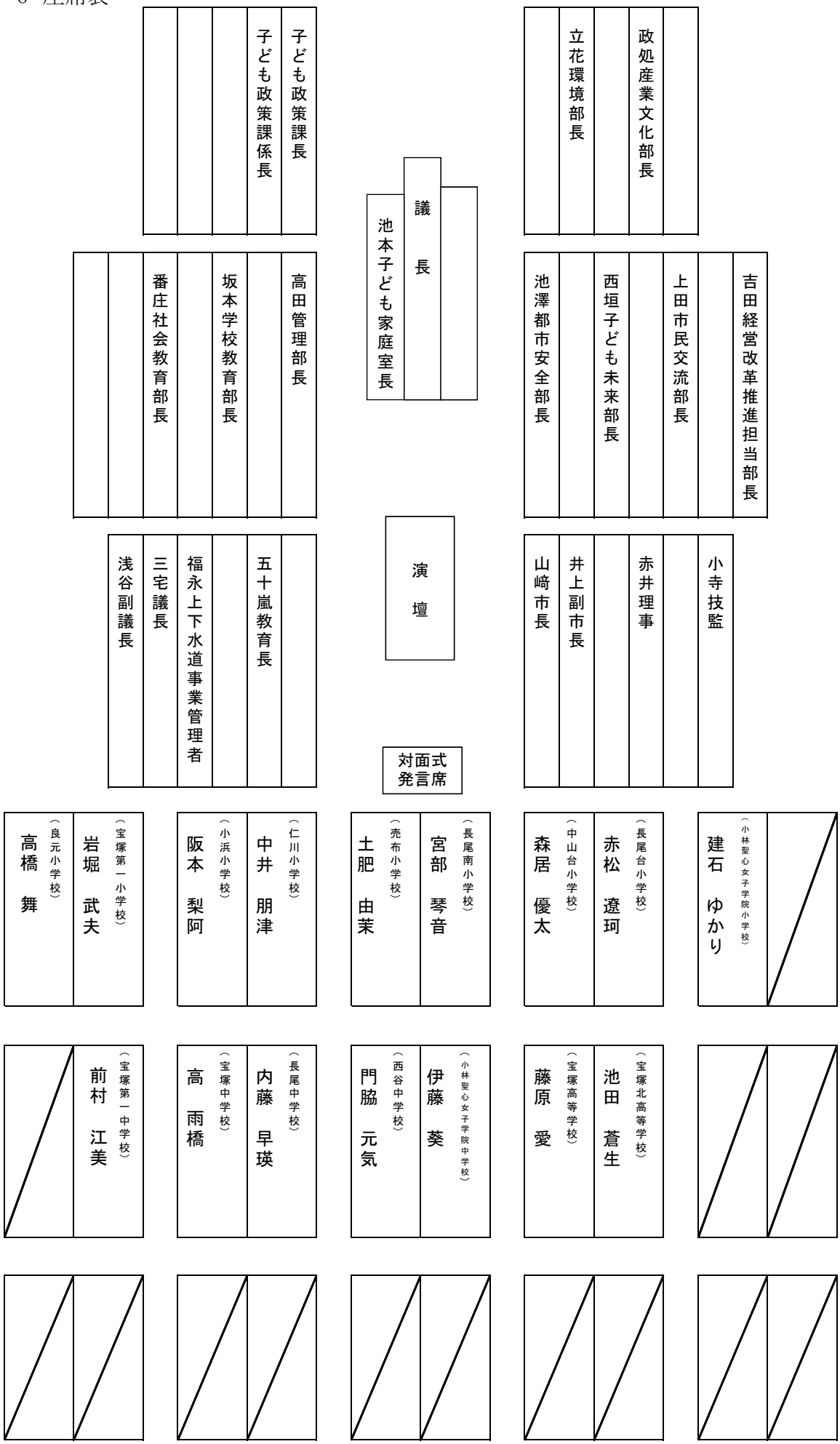
5　一般質問一覧表

順番	学校名	学年	氏名	発表テーマ （　発表内容予定　）
良元小学校　高橋　舞　議長　が議事進行				
1	宝塚第一小学校	6年	岩堀　武夫　〇	ボールを使って遊べる場所
2	小浜小学校	6年	阪本　梨阿	高架下公園の遊具や設備について
3	仁川小学校	6年	中井　朋津	通学路をもっと安全に
4	売布小学校	6年	土肥　由茉	宝塚市の名物を知ってもらいたい
5	長尾南小学校	6年	宮部　琴音	給食の飲み物について
6	中山台小学校	6年	森居　優太	中山五月台小学校の活用
7	長尾台小学校	6年	赤松　遼珂	全世帯子ども医療費を所得制限なく無料に
8	小林聖心女子学院小学校	6年	建石　ゆかり	宝塚市の自然環境の魅力を多くの人に知ってもらうためにできること
休憩				
宝塚第一小学校　岩堀　武夫　副議長　が議事進行				
9	良元小学校	6年	高橋　舞　◎	校舎の老朽化を直してほしい
10	宝塚第一中学校	3年	前村　江美	市内の公園整備について
11	宝塚中学校	3年	高　雨橋	外国人の生徒への援助を増やすことについて
12	長尾中学校	3年	内藤　早瑛	校区内の信号に関する提案
13	西谷中学校	3年	門脇　元気	西谷中学校と宝塚の他の中学校との交流
14	小林聖心女子学院中学校	3年	伊藤　葵	より良い町にするために
15	宝塚高等学校	2年	藤原　愛	出会い頭事故を防ぐために
16	宝塚北高等学校	2年	池田　蒼生	ランドセル寄附制度の開設

◎議長、〇副議長

議長	良元小学校	高橋　舞
副議長	宝塚第一小学校	岩堀　武夫

6 座席表


議長
池本子ども家庭室長
政処産業文化部長
立花環境部長
吉田経営改革推進担当部長
上田市民交流部長
西垣子ども未来部長
池澤都市安全部長
小寺技監
赤井理事
井上副市長
山﨑市長
子ども政策課長
子ども政策課係長
高田管理部長
坂本学校教育部長
番庄社会教育部長
五十嵐教育長
福永上下水道事業管理者
三宅議長
浅谷副議長
演壇
対面式発言席
（小林聖心女子学院小学校）建石 ゆかり
（長尾台小学校）赤松 遼珂
（中山台小学校）森居 優太
（長尾南小学校）宮部 琴音
（売布小学校）土肥 由茉
（仁川小学校）中井 朋津
（小浜小学校）阪本 梨阿
（宝塚第一小学校）岩堀 武夫
（良元小学校）高橋 舞
（宝塚北高等学校）池田 蒼生
（宝塚高等学校）藤原 愛
（小林聖心女子学院中学校）伊藤 葵
（西谷中学校）門脇 元気
（長尾中学校）内藤 早瑛
（宝塚中学校）高 雨橋
（宝塚第一中学校）前村 江美

令和４年度第２１回宝塚市子ども議会

（令和４年８月１９日）

会議のてんまつ（会議録）

○事務局

大変、長らくお待たせいたしました。

ただいまより、子ども議員が入場いたします。

皆さま、盛大な拍手でお迎えください。

＜子ども議員拍手で入場＞

＜理事者紹介＞

― 開会　午後１時３０分 ―

― 開　　会 ―

― 開議　午後１時３０分 ―

○高橋議長

皆さん、こんにちは。

ただいまご紹介を受けました、議長をつとめます良元小学校６年・高橋舞です。

ただいまから、第２１回宝塚市子ども議会を開会します。

開会にあたり、子ども議員を代表し、あいさつをします。

私たちは、各学校の中で選ばれた代表です。代表として事前学習会などで準備したことを生かしながら議会に出るという貴重な体験をしっかり楽しみましょう。

副議長の宝塚第一小学校・岩堀武夫さんには、この子ども議会の最後にあいさつをしてもらいます。

次に、宝塚市を代表して、市長さんにごあいさつをいただきたいと思います。

山﨑市長よろしくお願いします。

― 市 長 あ い さ つ ―

○山﨑市長（登壇）

子ども議員の皆様、保護者の皆様、また、学校関係者をはじめ本日ライブ配信にて傍聴されている皆様、こんにちは。宝塚市長の山﨑晴恵でございます。

子ども議会の開会にあたりまして、ごあいさつを申し上げます。

子ども議員の皆様、今回は、宝塚市子ども議会の議員になっていただき、ありがとうございます。

宝塚市子ども議会は、平成１９年４月に制定した「宝塚市子ども条例」に定める、子どもの社会参加の促進を目的として、子どもの皆様に、大人とは違った視点で意見や考えを述べてもらい、宝塚のまちづくりに生かしていくために実施しているものです。

私は、宝塚の将来を担っていかれる皆さんと一緒に、宝塚をもっと素晴らしいまちにするためにはどうしたらよいかを考え、話し合っていくことによって、この先ずっと住み続けたくなるようなまち、皆さんに愛されるまち「宝塚」を創っていきたいと考えています。

これまでの子ども議会で出された様々な意見や提案が市政に反映され、実現したこともたくさんあります。しかしながら、実現が難しかったり、すぐには出来なかったりすること、また子ども議員の皆様や地域の方々の協力が必要なこともあります。

そのようなことも含めて、すべて、皆さんの発言を一つひとつ真剣にお聴きして、出来るだけわかりやすくお答えをしてまいります。

子ども議員の皆様には、この議場で自分の意見が発表できるという貴重な体験を、今後の学校生活に、また、これからの人生に生かしてもらえたら嬉しく思います。

また、２学期が始まりましたら、今日の経験や聴いたこと、感じたことなどを、ぜひ、友だちや先生にお話をしてください。

簡単ではございますが、これで私のごあいさつとさせていただきます。

＜子ども議員の拍手＞

○高橋舞議長

山﨑市長、ありがとうございました。

ここで、子ども議員からの質問や提案発表の前に、今年度の子ども議員についてご紹介いたします。

私たち子ども議員は、６月に各学校からの推薦により選ばれた小学生９名と中学生５名、高校生２名の合計１６名からなります。７月２５日・２７日の事前学習会での準備を経て、日頃考えていることや、聴きたいことなどを自分たちの視点で考え、発表内容をまとめました。

これから私たちが発表する質問や提案を、ぜひ、宝塚のまちづくりに生かして欲しいと思います。

― 一　般　質　問 ―

―　ボールを使って遊べる場所　―

それでは、子ども議員からの発表を始めます。

まず最初は、宝塚第一小学校の岩堀さんからの提案です。岩堀武夫議員。

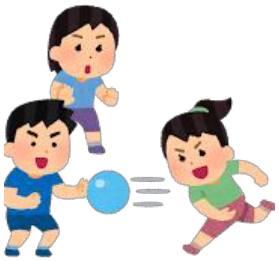
（登壇）

宝塚第一小学校の岩堀武夫です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

ぼくは、「ボール遊びができる場所」が必要だと考えています。なぜなら、校区内にボールを使って遊べる公園がないからです。クラスのみんなや友達に聞いてみると、多く

の人がボールを使って遊べる環境を望んでいました。ぼくたちの校区には、武庫山二丁目公園と湯本台広場があります。お気に入りの公園ですが、ボールを使って遊ぶことができません。その理由として、マンションや住んでいる人が多く、迷惑になるからだと思います。ぼくたちは、ボール遊びが大好きです。コロナウイルスのえいきょうで、家で過ごすことが増えました。住んでいる近くで、ボールを使って遊ぶことができれば、ストレスを解消し、もっと元気に過ごせると思います。



この願いを実現するために、次のように考えています。一つ目は、ボールを使用できる日や時間を設定することです。公園でゆっくり過ごしたいと思う人もいます。そして、ぼくたちのように、ボールを使って遊びたいという人もいます。それぞれの思いを調整することは有効だと思います。二つ目は、公園にさくを設置することです。今の環境ではボールが飛び出て、近くに住んでいる人に迷惑がかかるからです。子どもたちが楽しく過ごしやすいことは、宝塚市にとってメリットの一つになると思います。ぼくたち子どもの思いを知ってもらえれば嬉しいです。よろしくお願いいたします。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○高橋舞議長

山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）

岩堀議員のご質問に順次お答えします。

ボール遊びができる場所につきましては、岩堀議員の校区にある、武庫山２丁目公園と湯本台広場は、どちらもボール遊びをするには広場のスペースが狭く、広場の周りにはベンチなどもあるため、他の公園利用者の方もいる中で、この二つの公園で、思い切りボール遊びをすることは難しいと考えます。

本市には、ボール遊びができる公園が、グラウンドを含めて７箇所あり、岩堀議員の校区には、武庫山２丁目わくわくランドがあります。

また、岩堀議員のボールを使用できる日や時間を設定するご提案は、よい考えだと思います。この二つの公園の主な利用者は、地域の方だと思いますので、ご提案について地域の方にお伝えして、よく話し合って検討していきたいと思います。

次に、公園からボールが飛び出さないように柵を設置することについてですが、公園に新しく高さのある柵を設置するには、大掛かりな工事が必要となります。

この二つの公園以外でも、高い柵の設置が可能と思われるある程度大きな公園については、地域の子ども達がボール遊びがしたいということを地域の方にお伝えして、よく話し合って検討していきたいと思います。

○高橋舞議長

山﨑市長、ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

― 高架下公園の遊具や設備について ―

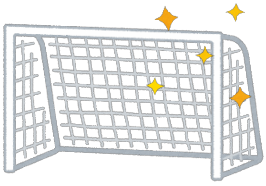
続きまして、小浜小学校の阪本梨阿議員。

（登壇）

小浜小学校の阪本梨阿です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

ぼくは、小浜小校区の高架下公園について話します。なぜこのテーマにしたかというと、遊具の老朽化が進んだり、夕方になってくると暗くてこわいという理由からです。まず遊具の老朽化について話します。前に、バスケのゴールが折れたと言うことがありました。長年使っていたための老朽化です。なので、古くなった遊具やゴールを新しい物に変えてほしいです。次に、公園の電気についてです。電気は、あるにはあるのですが、数が少ないため、不審者に狙われやすいのです。なので、電気を増やしてほしいです。次に時計についてです。だれもが時計を持っているわけではありません。なので、気軽に見れる時計がほしいです。公園の地面についてです。高架下の地面は、とてもでこぼこしています。サッカーコートもそうです。砂などでうめて平らにしてほしいです。そうしてもらった後に、ぼくらができることは、遊具を大切にし、ラクガキをしない。そして、決められた時間に帰るということを徹底したいと思っています。



そして、ぼくは計画委員会なので、毎月テレビ朝会をします。その場所で、小浜小のみなさんに言うこともできます。

たくさんお願いしてきましたが、なによりぼく達ができることをしていき、宝塚市という街をよりよい街にしていきたいと思います。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○高橋舞議長

山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）

阪本議員のご質問に順次お答えします。

米谷高架下子ども遊園の遊具につきましては、複合遊具や滑り台、ブランコ、砂場、ザイルクライミング、また、バスケットゴールやフットサルゴール、大人が使う健康遊具など、たくさんの遊具がある公園です。これらの遊具は、設置してから年数が経ち、多少、老朽化は進んでいますが、年に１回、専門家による安全点検を行っており、遊具の安全は確認していますので、安心して大切に使っていただきたいと考えています。

次に、公園の電気の明るさについては、一定の基準があります。基準を超えて明るくすると、近所に住む方にとっては夜、明るすぎて眠れなくなるなどの可能性があるため、公園の明るさを調査したうえで、対応を検討します。

次に、時計についてですが、本市には約３６０箇所の公園などがあり、全てに時計を設置して、維持管理することは難しいため、公園利用者の多い末広中央公園などの大きな公園や、地域の方が自主的に時計を設置し、管理していただいている場所以外は、ほとんど設置されていません。公園を利用される時には、時計や携帯電話を持っているお友達に

時間を聞いてください。また、帰る時には、周りで遊んでいる子ども達にも声をかけてあげてください。

次に、公園の地面についてですが、阪本議員のご指摘のとおり、中国自動車道の高架から雨水が落ちて、サッカーコートなどの地面がぬかるみ、でこぼこになっているところがありますので、砂を入れて平らにする工事をしたいと考えています。また、サッカーゴールのネットも破れて、修理ができない状況になっているので、新しいネットと交換する予定です。

阪本議員がおっしゃるように、これからも遊具を大切に使っていただきますようお願いします。

最後に、阪本議員の「なにより宝塚市をよりよい街にしていきたい」というご意見は大変うれしく思います。一緒に宝塚市をより良い街にしていきましょう。

○高橋舞議長

山﨑市長ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

―　通学路をもっと安全に　―

続きまして、仁川小学校の中井朋津議員。

（登壇）

仁川小学校の中井朋津です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

僕は、「通学路をもっと安全に」を提案します。

これには、二つの方法があり、一つ目は、午前７時半から午前８時半までの、登校の時間と、午後３時から午後４時までの下校の時間の間だけ、あぶない通学路を通行止めにするというものです。また、その時間帯を無視して、車が入ってこないように、警察や、地域の方などがみまもりする制度も作るといいと思います。

そして、二つ目は、歩道や、ガードレールを設置するというものです。これは、名前の通り、細い道やあぶない道などに歩道やガードレールを設置するというものです。そしてなぜこのような提案をするかと言うと、僕自身が班長で、いつも通学路を通るとき、せまいなと思いながらいつも通っていたからです。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○高橋舞議長

山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）

中井議員のご質問に順次お答えします。

通学路の通行止めなどの交通規制については、学校や地域の方などからのご要望を受けて、自動車などが通学中の皆さんに与える危険性などを調査し、地域の方のご理解を得た上で、警察が通行止めなどの交通規制を行っています。

なお、今回の子ども議会でいただいたご提案については、情報として市から宝塚警察署にお伝えします。

市としましては、これからも交通安全教室の開催などの交通事故防止に向けた取組を行っていきますが、皆さんには、交通ルールを守り、交通事故に遭わないよう注意していただくことをお願いします。

次に、歩道やガードレールの設置についてですが、仁川幼稚園から仁川小学校までの区間については、道路の幅が比較的広いことから、道路の端を色分けしたグリーンベルトを設置して、歩行者の通行ルートを分かりやすく表示しています。

一方で、仁川幼稚園から北側の区間については、道路の幅が狭く、グリーンベルトや歩道、ガードレールの設置はできませんが、学校や地域の方からの要望があれば地面に注意を促すマークの設置を検討してまいります。

教育に関することについては教育長がお答えします。

○高橋舞議長

山﨑市長ありがとうございました。

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長

（登壇）

中井議員の教育に関するご質問にお答えします。

通学路をもっと安全に、につきましては、本市では、「宝塚市通学路交通安全推進会議」が作成した「宝塚市通学路交通安全プログラム」に基づき、学校、地域、PTA、道路管理者、警察署、教育委員会が協力し、合同点検を実施しています。そこで確認をした危険な場所については、学校や保護者、地域のご意見を参考に、対応を考えていきます。

さらに、家庭や地域の協力を得て、登下校の見守りもお願いし、子どもたちの登下校の安全確保に努めています。私たち教育委員会では、今後も家庭や地域、関係機関とも協力しながら児童生徒の通学の安全対策に取り組んでいきます。

また、中井議員が班長をつとめる登校班では、地区ごとに集まり、安全について学習されています。先生や地区委員が、安全について指導するほか、児童同士で危険箇所について話し合うことで、車や自転車に注意しながら、安全に登下校することを願っています。

○高橋舞議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

― 宝塚市の名物を知ってもらいたい ―

続きまして、売布小学校の土肥由茉議員。

（登壇）

売布小学校の土肥由茉です。

よろしくお願いします。

〔質問全文〕

まず私が提案するのは、「宝塚市の名物をもっとPRする」ということです。宝塚市は「宝塚歌劇」「手塚治虫記念館」や「中山寺」「ダリア」などが有名ですよね。色々な文化、きれいな自然。すてきなところがたくさんあります。しかし、宝塚の名物のことはあまり、知られていないように感じます。名物があると、それを買いにたくさんの人が来ると思います。そして、宝塚市がさらに明るく、にぎやかになります。

そして、宝塚の名物として、たくさんの人に知ってほしいのは、西谷の野菜と和がしです。では、その名物のPRをどうやってすればいいか、について三つの提案をします。

一つ目は、掲示板や学校からの手紙でパンフレットを配布する、ということです。そのパンフレットは、写真を使って分かりやすく、その名物のポイントなどを書くと目に止まりやすくなると思います。

二つ目は、和がしの作り方や野菜を使った料理の体験会を開く、ということです。和がしなどの作り方、特にどこを工夫しているのかを知ることによって、よりおいしさを感じられるのではないでしょうか。

三つ目は、宝塚産の野菜などを使った、料理コンテストを開く、ということです。家族や友達と宝塚産の野菜などを使って、料理をします。できあがった料理の写真やレシピをコンテストに出し、よりたくさんの人に宝塚の野菜を知ってもらう、ということです。三田市では、このようなことを行っていると聞いたので、ぜひ宝塚市でもやってみてください。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○高橋舞議長

山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）

土肥議員のご質問に順次お答えします。

まず、西谷の野菜と和菓子を知ってもらうための取組のうち、西谷の野菜に関する取組につきましては、西谷の農家の方が朝早くに収穫した新鮮な朝採れ野菜を市の農業振興施設である「西谷夢市場」で販売しているほか、市役所横の武庫川河川敷公園や宝塚市立文化芸術センターを会場として、それぞれ月１回開催する「宝塚朝市」や「たからの市」において、農家の方が直接朝採れ野菜を販売する機会を通じて、市民の皆様に西谷野菜の美味しさや新鮮さを知ってもらえるよう、PRを行っています。

このほか、市内のスーパーマーケットなどでも市内産を含む近郊地で作られた新鮮な野菜を販売しているコーナーがあります。市民の皆さまが市内産を優先的に購入いただくことは生産者である農家の方の励みにもつながります。子ども議員の皆さんも野菜を購入するときには、どこの地域で生産されているのかも注目してほしいと思います。

また、和菓子についてですが、以前、和菓子屋さんにお話を伺った際、若い世代の和菓子離れを心配されていました。今回、

土肥議員が和菓子に注目してくださったこと、私もうれしく感じています。本市では、西谷の野菜や和菓子をはじめ様々な「宝塚ならでは！」の魅力を掲載する宝塚ブランド「モノ・コト・バ宝塚」において、炭酸せんべいなど和菓子１７品を選定しPRに努めています。今後も「モノ・コト・バ宝塚」や市ホームページへの掲載、定期的に発行する特集誌を通して市内外に発信を行うことにより、多くの方々に本市の魅力ある名物を知ってもらえる機会となるよう取り組んでいきます。

次に、「和菓子の作り方や野菜を使った料理の体験会を開く」取組につきましては、２０１９年度までは、野菜を使った料理体験会や和菓子の手づくり教室を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、現在は実施できていません。そのため、今年度は、和菓子については販売店舗の方などにインタビューを行い、その内容をパンフレットとしてまとめ、西谷産の野菜については西谷の農家の方に、その作り方やレシピを取材し、ご家族やお友達と一緒に料理を楽しんでいただけるよう、写真と一緒に紹介することなどを検討していきます。

これからも西谷産の野菜や市内で作られている和菓子を含む名物に興味を持ち続けてほしいと思います。

教育に関することについては、教育長がお答えします。

○高橋舞議長

山﨑市長ありがとうございました。

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

土肥議員の教育に関するご質問にお答えします。

宝塚市の名物を知ってもらいたいにつきましては、市立小中学校の給食で西谷産の野菜を夏から冬にかけて年に数回使用し、地産地消の取組を行っています。この西谷産の野菜の使用にあわせて、その特徴や生産農家の方々のインタビューを記事にして校内に掲示したり、学校から配布している給食だよりなどで西谷産の野菜を紹介するなど、学校給食を通して西谷産の野菜を知ってもらうよう取り組んでいます。

また、本市の特産物である「宝塚ねぎ」の給食献立を料理レシピサイトの「クックパッド」で紹介しています。この他、給食献立の作り方を食育動画としてまとめた「おさらい給食」を市のホームページに載せていますが、この食育動画でも西谷産の野菜を紹介しています。皆さんも是非一度ご覧になり、家で作ってみてください。

そして、土肥議員からご提案のあった宝塚産の野菜などを使った料理コンテストにつきましては、本市の野菜を多くの人に知ってもらえるだけでなく、地元食材を活用した食育の推進にも大変有効な取組ですので、教育委員会においても実施について考えていきます。

○高橋舞議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

― 一 般 質 問 ―

―　給食の飲み物について　―

続きまして、長尾南小学校の宮部琴音議員。

（登壇）

長尾南小学校の宮部琴音です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

今の学校の給食では、飲み物が牛乳です。ご飯のときもです。ご飯と牛乳って合うと思いますか？私は好きではありません。なので、今回はこのテーマで提案しました。そこで私は米飯のときはお茶にした方がいいと思いました。牛乳は、飲めない子や苦手な子も多数います。なので牛乳が残って廃棄されてしまいます。さらに２００mlという多さで１、２年生の子たちは「牛乳だけでお腹いっぱいになる」という子もいました。そこで調べてみると少し少なめの１２５mlのお茶がありました。それは紙パックでエコになっていました。なので丁度いいと思いました。そして足りないカルシウムはチーズやじゃこなどで補えばいいと思います。パンと牛乳は洋食で、洋食は洋食でいいと思うのですが和食は洋の牛乳は入れずにお茶や水にした方が美味しく食べられると思いました。

今回は牛乳のことで提案しましたが今戦争をしている国があります。そこで輸入に規制がかかっていて食料が入りにくくなってきています。なので輸入に頼らず日本の自給率を少しでも上げて食べ物に困らない国になってほしいです。そうするためにはまずお茶、水を優先して飲むといいのではないでしょうか。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○高橋舞議長

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

宮部議員の教育に関するご質問にお答えします。

給食の飲み物につきましては、学校給食は、児童、生徒の皆さんの心身の健全な発達につながるよう、学校給食法という法律や、その細かな内容を定める規則に基づいて実施しており、本市では、小中学校ともに、それぞれの学校に給食室を整備する自校調理場方式により、パンか米飯の主食におかずである副食と牛乳を提供する完全給食を実施しています。

また、家庭では摂りにくいカルシウムなどの栄養素は、１日に必要な栄養素の半分の量を学校給食で摂れるようにするなど、子ども達の成長に欠かせない栄養素を中心に摂取基準が定められており、その基準を満たすように献立が作られています。

その中でも牛乳は、皆さんの体を作るのに大切なたんぱく質、カルシウム、ビタミン群が豊富に含まれており、学校給食で摂ってほしい栄養素を効果的に摂ることができます。

また、学校給食で提供している牛乳は全て国内産ですので、安心して飲んでください。

一方、牛乳をお茶かお水に替えた場合、牛乳で補っていた栄養素を他の食料で賄うことになり、相当、多くの食材が必要になります。

こうしたことから、効果的にカルシウムなどの栄養素を摂ることができる牛乳を提供しています。

小中学生では、普段の学校給食で牛乳を飲んでいることから、カルシウムの摂取率が非常に高いのですが、高校生になると学校給食もなくなり、牛乳を飲む機会が一気に減ることから、カルシウムの摂取率が低くなる傾向にあります。

確かに家庭では考えにくい米飯と牛乳の組み合わせではありますが、成長過程における児童生徒の必要な栄養素をバランスよく確保するためには、牛乳の提供は欠かせないものです。

今後も輸入に頼らず日本の自給率を上げるように、国内産の牛乳の使用や国内産の食材調達に努めていきます。

○高橋舞議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

― 中山五月台小学校の活用 ―

続きまして、中山台小学校の森居優太議員。

（登壇）

中山台小学校の森居優太です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

僕が宝塚市に提案するのは、旧中山五月台小学校の活用です。昨年度末、僕が通っていた桜台小と、五月台小の２校は統合し、中山台小学校になりました。校舎は桜台小のものを利用しているため、五月台小は現在空き家状態です。まだまだ使える遊具や広い校庭や校舎が残っているにも関わらず、それを使わないで放置するのは、あまりにもったいないのではないでしょうか。

そこで僕は、五月台小の活用方法をいくつか考えました。一つ目は、大型遊具のある広い校庭を、みんなが使える公園として開放することです。僕が住んでいる桜台・五月台地区は子どももお年寄りも大勢いますが、コロナ禍で人々の関わり合いは希薄になっています。もしあの校庭が公園になれば、みんなが体を動かすことができる憩いの場になるのではないでしょうか。校舎は一部を児童館にして、子どもたちの遊び場と、子どもを預けることができる施設にするのはどうでしょう。さらに、校舎はワクチンの接種会場や、PCR検査センターとしても活用することが可能だと考えます。先ほども言ったように、僕が住んでいる地区はお年寄りが多いです。近くに接種会場があれば、助かると思うし、接種をする人の割合も高まると考えます。

今は収束しかけているようにも見えるコロナウイルスですが、いつまた波が来るか分かりません。みんなが安心して楽しく暮らせる住みよい街になるように、僕は旧五月台小学校の利用を提案します。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○高橋舞議長

山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）

森居議員のご質問にお答えします。旧中山五月台小学校の建物を含む跡地利用について、この度は、公園や児童館、ワクチン接種会場並びにＰＣＲ検査センターなど、子どもだけでなく、地域の高齢者の方や子育て世代の方と様々な世代が利用でき、コロナ禍で関わり合いが希薄となっている地域の方々が交流できるような、地域の状況や課題を踏まえた活用方法をご提案いただきありがとうございます。

旧中山五月台小学校の跡地利用について、校舎については、先月行われた参議院議員選挙の投票所として一時的に使用したほか、

グラウンドや体育館については、しばらくの間、地域のスポーツクラブに開放するなど、有効活用を図っています。

今後の跡地利用については、本市の方針において、広く社会の利益となるような土地利用に取り組むこととしており、グラウンドや校舎の利用については、本市だけでなく民間事業者などの力を借りることも考えながら検討を始めています。

引き続き、地域の方に意見を聞きながら、隣の旧中山五月台幼稚園の跡地も含め、これからの社会の利益となり、みんなが安心して楽しく暮らせる住みよい街になるよう検討を進めていきます。

○高橋舞議長

山﨑市長ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

― 全世帯子ども医療費を所得制限なく無料に ―

続きまして、長尾台小学校の赤松遼珂議員。

（登壇）

長尾台小学校の赤松遼珂です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

僕は、宝塚市在住の全世帯の子どもの医療費を所得制限なしに無料にすることを提案します。なぜこのことを提案しようと思ったかというと、僕は生まれてから２度目の引っ越しで宝塚市にきました。これまで、埼玉県と明石市に住んでいて、どちらも子どもの医療費が全世帯所得制限なく無料でした。さらに明石市は１８歳、高校卒業まで無料になります。宝塚市に来て最初に病院に行った時に、母がお金を払っているのを見て驚いた覚えがあります。なぜ、住んでいる市によって、こ

ういった違いが出てくるのでしょうか？そこで、気になって調べてみると、所得制限なく医療費が無料になる自治体は全国にもたくさんあることがわかりました。

持続可能な開発目標「SDGｓ」の３番目には「すべての人に健康と福祉を」という項目があります。全ての子どもの医療費を無料にし、誰もが平等に病院に行けるようになれば、健康な子どもが増え、「すべての人に健康と福祉を」という目標にも近づくことができると思います。

明石市のように、子育て世代がもっと宝塚市に住もうと思ってくれ、宝塚市の人口が増えるきっかけのひとつになると思います。僕は、小さい時は病気が多く、救急車に乗ったことも入院したことも何度かあります。親にはたくさん心配をかけました。そういった自分の経験もあり、僕は誰もが金銭的な負担がなく病院に通うことができてほしいと思っています。

住む場所によってかかる費用が違うのはおかしいと思います。だから僕は、宝塚市でも全世帯の子どもの医療費を所得制限なしに無料にすることを提案します。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○高橋舞議長

山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）

赤松議員のご質問に順次お答えします。

乳幼児・こども医療費助成制度は、県と市の共同事業として実施しており、安心して子育てができる環境づくりと子育て支援の観点から、本市の重要な施策の一つであると認識しており、現在、本市では県の所得基準を緩和し、かつ中学３年生までの医療費の一部負担金を市独自で無料にしています。

また、現在県下４１市町のうち２１市町が、中学３年生までの医療費助成について所得制限を廃止し一部負担金を無料にしている状況です。

なお、所得制限の廃止並びに一部負担金無料の実施に係る自治体間の違いについては、それぞれの自治体における財政状況によるところが大きいと認識しています。

本市で所得制限を廃止した場合、年間約２億３千万円のあらたな負担が発生することとなり、本市の厳しい財政状況から、市単独での所得制限廃止は困難と認識しています。そのため、県に対して、子育て支援の観点から所得制限の廃止を要望しているところです。

なお、県においては、子どもの医療費に係る助成制度は本来全国一律の水準で実施されることが必要との考えのもと、全国知事会等の機会を捉え国に対して制度化を求めているところです。

今後も、子どもがいきいきと健やかに育つ環境づくりと、子育て世代が住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくりを目指すためにも、制度の安定維持と更なる充実に向けて、県に対し引き続き要望していきます。

○高橋舞議長
　山﨑市長ありがとうございました。

―　一　般　質　問　―

―宝塚市の自然環境の魅力を
多くの人に知ってもらう
ためにできること―

　続きまして、小林聖心女子学院小学校の建石ゆかり議員。

（登壇）

　小林聖心女子学院小学校の建石ゆかりです。よろしくお願いします。

〔質問全文〕
　宝塚市は自然環境に恵まれています。例えば私が生活している地区は、逆瀬川で蛍やミヤマアカネが見られたり、ウグイスなどの美しい鳴き声が聞こえたり、桜並木があったりします。でも、それは当たり前で特別だとは考えていませんでした。
　私の学校では、４年生の時に『逆瀬川ってどんな川？』という取り組みで、逆瀬川を調査しました。そこで初めて、実際にいろいろな植物や生き物がいることを知りました。宝塚市に住んでいて、このような素晴らしい自然環境があることを知らずにいるのは、とてももったいないことだと思ったので、魅力を多くの人に伝え、知ってもらうことを提案します。
　例えば、１年以上前に学校で作ったYouTube動画も、私が担当した動画だけを見ても１５０回ほどしか閲覧されていません。つまり、逆瀬川についての動画があることさえも知られていないことが分かります。他にも逆瀬川の生き物に触れるイベントや蛍を見る会などがありますが、日程や募集人数が限られていて多くの人が体験できる機会がありません。宝塚市には他にもあまり知られていないけど美しい自然環境があると思います。

　このことから私は宝塚市のホームページに学校などで作った動画等の取り組みをリンクで貼ったり、広報などで特集を組んだりすること、他には宝塚市内の学校同士で交流する機会を作って発表しあったりしてはどうかと提案します。
　これで提案を終わります。ありがとうございました。

○高橋舞議長
　山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）
　建石議員のご質問に順次お答えします。
　宝塚市においては、西谷地域をはじめ、生物多様性に恵まれた自然環境がたくさんあり、様々な団体の協力のもと、その保全に取り組んでいます。
　逆瀬川についても、住宅街のすぐ近くでありながら、ミヤマアカネやゲンジボタルが確認できる自然豊かな場所であり、この魅力を

多くの人に伝えていくことは、とても大事なことであると考えています。

そのため、ホタル観賞イベントについては、２日間にわたって実施しており、逆瀬川の生物を調べるイベントについても、応募者が多数で定員を超えたことから、急遽２回目を実施するなど、生物多様性の保全に影響のない範囲で、少しでも多くの人に自然環境の魅力に触れてもらえるよう工夫しています。

小林聖心女子学院小学校で作られた逆瀬川の動画については、よく調べられた素晴らしいものでした。現在本市においても生物多様性についての動画を作成中ですので、それを公開する際に、合わせて逆瀬川の動画へのリンクを貼りたいと思います。

教育に関することについては教育長がお答えします。

○高橋舞議長

山﨑市長ありがとうございました。

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

建石議員の教育に関するご質問にお答えします。

本市の自然環境の魅力に気付き、地域に根付いた調査に取り組まれ、多様な植物や生物が存在していることを明らかにされていることは、大変素晴らしいことです。

本市では、毎年、小学生夏休み理科自由研究発表会や宝塚市立中学校理科作品展を開催しています。そこでは、身近な自然の魅力に目を向けた児童生徒の観察･実験記録や工夫を凝らした制作物、

採集標本などを展示・発表しています。そのような機会に、市内の私立小中学校での取組の発表についても参加できるか、今後校長会と協議し検討したいと思います。

建石議員が学校で自然観察に取り組まれたように、市内の公立小学校でも自然学習に取り組んでいます。また、西谷地区には豊かな自然があり、宝塚自然の家での自然環境体験活動も行っています。このような取組を、もっと市民の皆さんに知ってもらえるよう、これからもホームページ等で情報発信に努めます。

建石議員のご提案のように、本市の自然環境の魅力について、市内の学校同士で交流することについては、オンライン等を使った学校間での交流を今後考えていきたいと思います。

○高橋舞議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

ここで、しばらくの間、休憩をします。

午後２時５０分から会議を再開します。

再開後は、副議長の岩堀さんと議事進行を交替します。岩堀さんよろしくお願いします。

― 休　憩　午後２時４０分 ―

― 再　開　午後２時５０分 ―

○岩堀武夫副議長

ただいまから会議を再開します。

議事進行をつとめます副議長の宝塚第一小学校６年・岩堀武夫です。

― 一　般　質　問 ―

―　校舎の老朽化を直してほしい　―

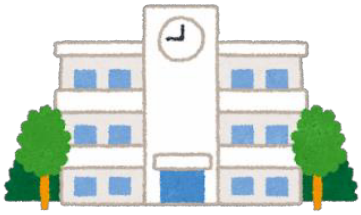
続きまして、良元小学校の高橋舞議員。

（登壇）

良元小学校の高橋舞です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

私は、良元小学校が大好きです。毎日楽しく通っています。しかし、残念なことに校舎のところどころにひびが入っていたり、ペンキがはがれている所や、欠けている所もあります。良元小は歴史あるすばらしい所ですが、最近、「老朽化」してきています。なので私は大好きな良元小をもっとすてきな所になるように、古くなった場所を直してほしいです。校舎がきれいになると良いことがたくさんあると思います。それらの中から三つ説明します。



一つ目は、危ない所がなくなることです。ひびが入っていたり、ペンキがはがれてしまっていたら、ふつうにしていても危ないし、地震があったりしたらとても危ないです。ひびわれは、ろう下や階段や教室にもあります。目にとめると、大丈夫かな、と思います。二つ目は、ペンキなどをぬり直すことによって、ろう下が明るくなります。すると、ルールを破って、ろう下を走ったり、走ってぶつかることも少なくなると思います。そしてけがをしてしまう人が少なくなると安心です。三つ目は、新１年生が安心して気持ちよく入学できるということです。校舎を新しくきれいにすることで、新１年生が安心して友達と仲良く楽しくできる気分になれます。このように学校がきれいになることで、学校全体の補強ができ、地震などがあっても、大丈夫になります。そうすると、みんなが安心で楽しくできる学校になります。なので、宝塚市の学校の老朽化を直す工事をお願いしたいです。

以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○岩堀武夫副議長

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

高橋議員の教育に関するご質問にお答えします。

良元小学校は、１８７４年（明治７年）に開校した本市の小学校の中でも歴史のある学校です。今の校舎は約６０年前に建てられたものですが、大規模改修や地震が来ても建物が壊れないように耐震化補強の工事も終わっています。

古い校舎ですので、壁にひび割れやペンキの剥がれなどがありますが、毎年、定期的に実施している点検や調査の結果から、地震が来ても建物が崩れるようなひび割れではなく、表面的なものでした。

大規模な改修工事は、市内にある学校を順番に実施していますので、次の順番までの間、壊れたところなどは、日頃の点検で見つけて、その都度修理をしていきます。

壁のひび割れやペンキの剥がれなど、壊れたところをみつけた場合は、まず、先生に伝えてください。現場を確認して、気持ちよく学校生活が送れるように、綺麗に修理していきたいと思います。

○岩堀武夫副議長
五十嵐教育長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 市内の公園整備について —

続きまして、宝塚第一中学校の前村江美議員。

（登壇）

宝塚第一中学校の前村江美です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕
皆さん公園には、きっとたくさんの思い出がありますよね。しかし、今では子供の公園使用が減っていると思われます。その理由としては、ゲーム機の普及や公園の魅力が落ちたことなどが挙げられます。そこで私は、公園整備の見直しを提案します。まず、遊具です。今、私の知っている公園には、ブランコ、鉄棒、滑り台という限られたものしか置いてありません。私がまだ幼かった頃は、公園それぞれに多様な遊具がありました。しかし、今そのほとんどが撤去されてしまい、公園の魅力が落ちている原因の一つとなっています。次に公園にもっと多様な遊具があれば、公園に訪れる人が増えるのではないでしょうか。公園にもっとたくさんの年齢層の人に来てもらうために、バスケットゴールや壁打ちができる環境を造ることです。中学生は、部活の自主練をしたりする場がありません。今の広場でやろうとしても、草がはえていたり、環境が整っておらず、なかなかできない状況です。もう少し草刈りの頻度を上げたり、どんな目的の人にも使用してもらえるように今一度設備について見直してほしいと思います。近くに大型ショッピングセンターがない分のびのびくらせることが宝塚市の良いところだと思います。これからは、そこをもっとのばしていくべきだと私は考えます。

以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○岩堀武夫副議長
山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）
前村議員のご質問に順次お答えします。
公園整備の見直しにつきましては、現在、本市に遊具のある公園は、約２８０公園で約１２５０基の遊具があります。遊具のほとんどは設置してからかなり年数が経過しているため、年に１回の専門家による安全点検を行っています。老朽化が進んで補修が不可能となったものや、安全基準を満たしていない古い遊具があれば、危険なため撤去しています。前村議員が幼かった

頃にあった多様な遊具も、その一つと考えられます。

老朽化した遊具は、計画的に修繕などを行うとともに、新しい遊具に置き換えるときには、地域の方のご意見やご要望をお聞きしながら設置しています。

また、本市では、地域のニーズに合った、魅力的で特色のある公園づくりを行っていきたいと考えています。その際は、子ども達からもご意見をお聞きしたいと思います。

次に、バスケットゴールや壁打ちができる環境づくりについてですが、現在、本市には、バスケットゴールが設置されている公園が７箇所、壁打ちは２箇所あり、いずれも武庫川を渡った山手や安倉方面などの公園となります。

２０２０年度に、光明町地域の学生の方からバスケットゴールのご要望があり、光明第４公園に設置できないか地域の方と話し合いましたが、ボールが近隣の住宅に飛び越えていく危険や騒音の課題があり、結果的にバスケットゴールの設置は見送ることとなりました。

公園にバスケットゴールや壁打ちを設置する際は、利用時の騒音や振動、利用する方の声や夜間の利用などについて、事前に地域の方と十分話し合う必要があります。

バスケットゴールなどの設置が可能と思われる、ある程度大きな公園については、地域の方ともよく話し合って、検討していきたいと思います。

次に、公園の草刈りについてですが、市民団体の方がボランティアで草刈りを行っていただいている公園以外は、専門の業者に作業をお願いし、年に３回から４回草刈りを行っています。草刈りの時期や公園の利用状況によって雑草の生え方が異なるため、公園を利用する方には、ご迷惑をお掛けする場合がありますが、雑草が成長するまでに、できるだけタイミングを見て定期的に草刈りができるよう心掛けていきます。

○岩堀武夫副議長

山﨑市長ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

― 外国人の生徒への援助を増やすことについて ―

続きまして、宝塚中学校の高雨橋議員。

（登壇）

宝塚中学校の高雨橋です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

私は、宝塚の学校に通う外国人の生徒がより楽しい生活を送れるように、二つのことを提案します。一つ目は、日本語がわからない人に無料で家庭教師を雇う、塾に通うなどのサービスを増やすこと。二つ目は、外国人だからといったいじめや差別を学校側の取り組みで減らすことです。提案した理由を説明します。私は、５年前、１０歳のときに日本に引っ越してきました。そのときは日本語がまったくわからなくて、

長い間苦労していました。学校では、通訳さんが教えてくれますが、学校の勉強だけではやはり日本語の理解が遅いので、日本語を勉強できるより良い環境を増やすことで改善できると思います。

そして二つ目の提案についてです。私が通う宝塚中学校では外国人を悪く思う人は少ない方だとは思いますが、やはり時々距離を感じます。このような差別やいじめを減らすための対策の一例として、もし外国人が転校してくる場合、学校で事前にその外国人の子の国について紹介したりして、期待がもっと増えると、助けようとする人や関心を持つ人も増えるのではないかと思ったからです。ぜひ一度前向きに検討していただきたいです。

以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○岩堀武夫副議長

山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）

高議員のご質問にお答えします。

外国人の生徒への援助を増やすことについてのうち、無料で家庭教師や塾に通うなどのサービスを増やすことについてですが、日本に来たばかりの外国人や子どもたちが、日本語や日本の生活習慣が分からないことで、様々な場面で困ったり、不安に感じたりすることは、とてもよく分かります。

本市では、国際・文化センターで、小学生以上の子どもたちを含む外国人市民が日本語を習ったり、生活の相談ができるようにしています。

また、外国人同士の交流や、日本文化を体験できるようなイベントも実施しています。特に、外国にルーツのある子ども同士が遊びやイベントを通じて知り合い、友達になることや、保護者同士の情報交換とネットワークづくりを目的として、月に１回「なないろルーツ」という交流会を開催し、学校や家庭、地域の中で暮らしやすくなることを目指しています。

加えて、今年の４月から、くらんど人権文化センターでは、６歳から１８歳までの外国にルーツのある子どもを対象に、月に２回、土曜日に「STワールド」という学習会を開始しています。ここでは、市国際交流協会の日本語の先生と一緒に、日本語の勉強や学校の勉強の復習をすることができます。これらの事業は、ほとんどが無料で参加できます。

本市では、これらの取組を市の広報誌やホームページでお知らせし、できるだけ多くの方々に参加してもらうことで、外国人市民やその子どもたちがより楽しく、安心して本市で暮らすことができるよう、取り組んでいます。

教育に関することについては教育長がお答えします。

○高橋舞議長

山﨑市長ありがとうございました。

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

高議員の教育に関するご質問にお答えします。

外国人の生徒への援助を増やすことについてのうち、外国人だからといったいじめや差別を学校側の取組で減らすことについてですが、本市でも国籍や民族の異なる外国人児童生徒が多く在籍している現状から、学校においては、国籍や民族等の「違い」を認め合い、共生する心を育むための「多文化共生」の取組に力を入れています。

外国人児童生徒が日本の学校に編入するときは不安な気持ちを抱えていることが多いので、受け入れの準備として、編入してくる児童生徒がそれまで生活していた国の文化や言葉などを紹介し、外国人児童生徒のことを理解する機会を設けるなど不安解消につながるための取組を行っています。また、異なる文化をもつ外国人児童生徒とのコミュニケーションの取り方について考える機会を設けることも、よりよい人間関係づくりを進めることにつながると考えて実施しています。

今後も外国人児童生徒が、安心して楽しく学校での生活を送ることができるように、「多文化共生」の取組をさらに進めていきます。

○高橋舞議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

― 校区内の信号に関する提案 ―

続きまして、長尾中学校の内藤早瑛議員。

（登壇）

長尾中学校の内藤早瑛です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

私は、校区内の信号に関する提案をします。長尾中学校校区の歩行者信号の待ち時間が長く、不便に感じているところがあります。特に長尾中から北西に進んだところにあるJRの高架付近の信号に引っかかってしまうと、なかなか渡ることができません。実際、その信号の利用者は、中学生だけに限らず、JR中山寺駅を利用している大人の方や大阪芸術短期大学生も多いように思います。ただ待ち時間が長いだけでなく、危険が多くなっている現状もあります。信号待ちの時間に耐えられずに、横断歩道のない所を急に渡ったり、信号無視をしている人を何度も見かけました。そのようなことをされると、車を運転している人にとっても、非常に危険な行為でそれが続けば、大きな事故につながってしまい、信号待ちをしている歩行者も事故に巻きこまれてしまうかもしれません。自分たちが住んでいる地域が、より安全で過ごしやすい場所になってほしいと思っています。以上のことからも、信号待ち時間が短くなるように改善して欲しいです。具体的な方法としては、歩行者信号が変わるまでの長さ・信号が青色になっている時間の長さが長くなるようにすること、縦方向と横方向の信号の入れかわりを早くすること、の２点を提案したいと思います。

以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○岩堀武夫副議長
　山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）
　内藤議員のご質問にお答えします。
　信号機の歩行者側が青になっている時間の長さについては、交差点に入ってくる車の通行台数や通行する歩行者の状況、道路の幅などを調査し、警察がそれぞれの交差点ごとに信号時間の長さを設定しています。
　信号機の設置や既に設置されている信号機の歩行者側が青になっている時間の長さの変更については、学校や地域の方などから警察にご要望いただくことになりますが、市としましても、ご指摘のありました中筋６丁目交差点周辺の交通状況を確認し、事故防止の啓発として、注意喚起の看板の設置などを検討したいと考えています。

　なお、今回の子ども議会でいただいたご要望については、情報として市から宝塚警察署にお伝えします。
　市としましては、これからも交通安全の啓発や交通事故防止に向けた取組を行っていきますが、皆さんも交通ルールを守り、交通事故に遭わないよう注意していただくことをお願いします。

○岩堀武夫副議長
　山﨑市長ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

―　西谷中学校と宝塚の他の中学校との交流　―

　続きまして、西谷中学校の門脇元気議員。

（登壇）

　西谷中学校の門脇元気です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕
　西谷中学校の生徒は小学生のころを含め、９年間同じ同級生と学校生活を送っています。それに、全校生徒は３８人です。なので、西谷の中学生は特定の人だけでの交流が多いので他人との交流を一歩引いてしまう傾向にあります。一方、宝塚市の他の中学校の生徒には、西谷中学校の生徒のような人は少ないでしょう。しかし、西谷中学校のような少人数で授業を受けたことがある人もいないと思います。そこで私は、西谷中学校と宝塚市の他の中学校との交換留学を提案します。交換留学をおこなうと、西谷中学校の生徒にも、ほかの学校の生徒にもメリットがあると思います。西谷中学校の生徒は、普段と違う人とふれあい、話すことで、社交的になるでしょう。また、他の学校の生徒は、少人数のより分かりやすい授業を受けることができます。大自然を堪能することもできるでしょう。西谷地域としても、他の中学校から生徒が来ることで西谷に興味を持ってもらい、活性化にもつながります。これらのことから私は西谷中学

校と宝塚市の他の中学校との交換留学を提案します。

以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○岩堀武夫副議長
五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）
門脇議員の教育に関するご質問にお答えします。
西谷中学校と本市の他の中学校との交換留学につきましては、いつも通学する中学校以外の学校の生徒と交流する経験は大切です。現在、本市では、他校と交流する機会として、市内合同音楽会や駅伝大会が実施されていますが、国語や数学といった普段の授業を、他校の生徒と合同で行う取組は、実施していません。西谷中学校の生徒が、他校の授業に入り、いつもと違う環境で学習することは、とても貴重な経験となります。また、他校の生徒にとっても西谷中学校に来ることで、豊かな自然の中でゆったり学ぶという貴重な経験ができます。
交換留学は移動手段の確保等が課題となりますが、まずは市内の学校間で生徒によるオンライン交流を行うことにより、生徒のみなさんにとって豊かな学びにつながりますので、このような学習方法を検討していきます。交換留学についても、教育委員会として現状や課題を整理しながら、実施の可否について考えていきます。

○岩堀武夫副議長
五十嵐教育長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— より良い町にするために —

続きまして、小林聖心女子学院中学校の伊藤葵議員。

（登壇）

小林聖心女子学院中学校の伊藤葵です。よろしくお願いします。

宝塚と言えば「音楽」の街として多くの人に知られています。私は宝塚市の弦楽器アンサンブルに入っていますが、コンサートでは必ず宝塚市の音楽「鉄腕アトム」を弾きます。コンサートに来て下さるお客様の中にはこの曲を聞きに他県からわざわざ足を運んでくださる方もいるそうです。もっと多くの人に音楽を知ってほしい、宝塚の魅力を知ってほしいと思っています。宝塚の伝統を守るためにはもっと宝塚市のことを発信していかなければならないと思います。まず一つ目に提案したいのは宝塚市文化財団のキャラクター「たからん」をもっといろいろな人に

知ってもらい「たからん」が主に活動している「たからんまつり」以外にも「たからん」のイベントを増やしたら良いと思います。また、それ以外にも宝塚市で有名な「音楽」を外国人にも知ってもらえるように、外国人の方でも楽しめる年に一度の音楽コンテストなどをすることを提案したいと考えています。もう一つは、弦楽器アンサンブルの宣伝方法や予算案の見直しについてです。今はコロナ禍で幅広く活動をすることができていませんが少し前までは他県での音楽活動等、幅広く活動していました。もっとたくさん他県で音楽活動をすることが出来ると他県の方にもより多くの人に宝塚市のことやアンサンブルのことを知ってもらえるかと思います。宣伝方法や予算案の見直しを応援して頂けたらと思います。

以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○岩堀武夫副議長

山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）

伊藤議員のご質問に順次お答えします。

より良い町にするためにのうち、「たからん」のイベントを増やすことについてですが、宝塚市文化財団のキャラクター「たからん」は、たからんまつりのほか、ベガ・ホールやソリオホールなどで文化財団が開催するイベントの時に来場者をお出迎えしたり、市が開催するイベントにゲスト出演したりしていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が世界中で流行し、多くのイベントが中止や延期となっています。現在は感染症対策を十分に実施した上で、イベントを再開しつつありますが、多くの人が集まることを避けるため「たからん」の活動は控えているところです。今後、感染の状況を見極めながら、文化財団と相談して「たからん」の出演やお出迎えを増やしていくことも検討していきます。

次に、外国人の方でも楽しめる音楽コンテストの実施についてですが、本市では、音楽を通した国際交流の推進と室内合唱の普及を目的として、１９８４年から「宝塚国際室内合唱コンクール」をベガ・ホールで開催しています。２０２０年以降、このコロナ禍にあって海外からの会場参加はありませんが、今年はオンライン部門を創設し、香港やインドネシアからオンラインでの参加がありました。このような国際的なコンクールを継続して開催し、音楽のまちとして国内だけでなく海外にも本市の魅力を引き続き発信していきたいと思っています。

次に、弦楽器アンサンブルの宣伝方法や予算案の見直しについてですが、多くのイベントが中止や延期になったことで、イベントに出演していた文化団体の活動の機会も減ってしまい、大変残念に思っています。

本市では、大分県大分市や、静岡県浜松市と音楽活動を通じた文化交流を実施しています。この交流についても２年間中止が続いていますが、他のイベントと同様に、交流の再開に向けて調整をしているところです。

今後も交流事業を継続し、伊藤議員が所属されている弦楽器アンサンブルをはじめ、

より多くの市民の皆様に文化交流に参加いただけるよう取り組んでいきます。

○岩堀武夫副議長
　山﨑市長ありがとうございました。

―　一　般　質　問　―

―　出会い頭事故を防ぐために　―

　続きまして、宝塚高等学校の藤原愛議員。

（登壇）
　宝塚高等学校の藤原愛です。よろしくお願いします。

〔質問全文〕
　私は、曲がり角や見通しの悪い道で起こる出会い頭事故について提案します。宝塚市に住む友達が買い物をするために、家の近くにある狭くて、見通しが悪い国道１７６号付近の道を通っていたそうです。その道には曲がり角があったのですが、車などが来ないかを確かめて通ろうとしたら、曲がり角の向こうにいたバイク側からは見えておらず接触してしまい、ケガをしたことがあるという話を聞きました。その道にはカーブミラーや事故防止を呼びかける看板などが無く、先程お話させて頂いたような事故が度々起こりそうになっているということも聞きました。歩行者側が道を通る時に、左右をしっかり見て車などが来ないかと確認するということや、車やバイクに乗っている側が速度を出し過ぎない、人が通ろうとしていないかを確かめることはもちろん大切です。ですが、宝塚市民全員がより安全に住める街にするには、カーブミラーや事故防止を呼びかける看板などを設置することも大切だと思います。カーブミラーを設置すれば、向こう側から相手が来ていないかが分かりやすくなりますし、事故防止を呼びかける看板を設置すれば、市民の皆さんの事故防止への意識が高まると思います。このような取り組みを行い、事故によってケガをしてしまう人や、命を失ってしまう人が１人でも少なくなればいいなと思います。

　以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○岩堀武夫副議長
　山﨑市長。

○山﨑市長（登壇）
　藤原議員のご質問にお答えします。
　本市では、市内の交通事故が起こりやすい危険な箇所について、学校や地域の方などからご要望をいただき、注意喚起の看板を設置するなど、交通安全対策に取り組んでいます。
　今回、危険な目に遭われた事案については、地元の自治会の方などと相談させていただいたうえで安全対策を検討したいと考えています。
　市としましては、これからも交通安全の啓発や交通事故防止に向けた取組を行っていきますが、皆さんも交通ルールを守り、交通

事故に遭わないよう注意していただくことをお願いします。

次に、カーブミラーの設置についてですが、カーブミラーは車の運転手が他の車を確認することを目的としています。

カーブミラーの設置については、自治会や地域の方からの要望があった場合に、まず、事故の防止に有効か確認し、その上で、カーブミラーを設置できるか確認しています。

今回も、まずカーブミラーの設置が事故防止に有効か、現地で確認します。

なお、カーブミラーは、曲がり角における道路状況の全てが映っているとは限らず、道路状況を確認する補助的なものです。カーブミラーが設置されている場所でも、曲がり角に進入する際の左右の安全確認は自分の目で行い、十分に注意して通行してください。

○岩堀武夫副議長

山﨑市長ありがとうございました。

― 一　般　質　問 ―

― ランドセル寄附制度の開設 ―

続きまして、宝塚北高等学校の池田蒼生議員。

（登壇）

宝塚北高等学校の池田蒼生です。

よろしくお願いします。

〔質問全文〕

今回、私は「ランドセル寄附制度の開設」を提案します。提案の目的は二つあります。

一つ目は「多くの小学生に好きな色のランドセルを渡す」です。現在ランドセルは一つ約４万２４００円と高価で、ひとり親世帯や低所得世帯などでは「欲しがるランドセルを買ってあげたいが、買ってあげられない」という現状があります。二つ目は「６年間使ったランドセルのその後を提供する」です。

私は小学校卒業後、６年間使ったランドセルをどうしようかと迷い、半年ほど家のタンスにしまっていました。そんな時、ランドセルを海外の貧しい子供たちに寄附するという団体を知りました。しかし寄附するためには配送料として、約５０００円かかりました。この事業を市内で行うことができれば、コストが抑えられるうえ、身近な場所で自分の寄附が生かされていることを実感できると思うので提案します。これは、次世代のチャリティー精神を芽生えさせるはずです。

以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○岩堀武夫副議長

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

池田議員の教育に関するご質問にお答えします。

ランドセルの寄附制度につきましては、企業や公益財団法人、非営利団体などが使わなくなったランドセルを回収し、海外の子どもたちに贈る取組を実施されています。

また、池田議員がご指摘のように、寄附の際に配送料として一定の金額が必要となり、寄附者にとって負担が発生しています。

ランドセルの再利用は、ひとり親世帯や低所得世帯に配慮した素晴らしい取組であり、次世代のチャリティー精神を芽生えさせる絶好の機会となります。

本市の一部の学校では、既に中学校の制服や小中学校の体操服で、比較的綺麗なものは、学校のＰＴＡに寄附していただき、ＰＴＡから希望する児童生徒に配布しています。

制服や体操服では、身体の成長に合わせて買い替えが必要となり、買い替えて間もない制服や体操服を捨てるのはもったいないという考え方から始まったものです。

ランドセルについては、最長で６年間使用しており、長期間使用すると、その分、傷みも激しいことから、寄附を受けるには、綺麗であることなど、一定の条件が必要になります。また、ランドセルを保管するための場所も必要となることから、各学校やＰＴＡとも協議し、ご提案いただきましたランドセルの寄附について、有効な方法を考えていきます。

○岩堀武夫副議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

これをもちまして、子ども議員からの発表と答弁はすべて終わりました。

本日の子ども議会の閉会にあたり、副議長としてあいさつをします。

コロナ禍ですが、子ども議会を開催していただきありがとうございます。僕たちの提案を一つでも多く取り入れていただけたら嬉しいです。貴重な体験をさせていただき心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

これをもちまして第２１回宝塚市子ども議会を閉会します。なお、記念撮影がありますので山﨑市長、井上副市長、五十嵐教育長、高橋議長、岩堀副議長、子ども議員の皆さんは中央に集まってください。

＜子ども議員・傍聴者の拍手＞

＜記念撮影＞

―　閉　会　―

―　閉　会　午後３時３０分　―

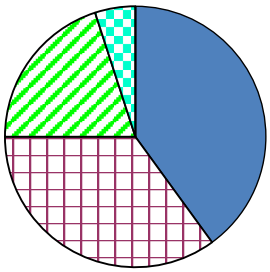
◇　子ども議員委嘱状

2022年度
第21回宝塚市子ども議会委嘱状
宝子政第　201－〇号
令 和 ４ 年 ７ 月 ２ ５ 日
(２０２２年)
宝塚市長　山﨑　晴恵
宝塚　太郎　様
あなたを令和4年度（2022年度）
宝塚市子ども議会議員に委嘱します
任期は発令の日から令和4年
（2022年）8月19日までとします

○第21回宝塚市子ども議会アンケート結果

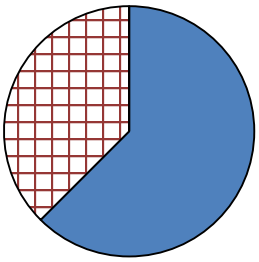
【子ども議員16人】

1,「子ども議員になった理由（経緯）について（複数回答可）」



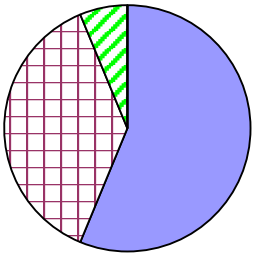
	今年度		昨年度
立候補または応募	40%	（8件）	70%
先生にいわれて	35%	（7件）	20%
友だちや家族に言われて	20%	（4件）	5%
その他	5%	（1件）	5%
回答なし	0%	（0件）	0%

2,「事前学習会の浜田先生のワークショップでは、「おとなに聴いてもらえる権利」についてのお話などがありましたが、



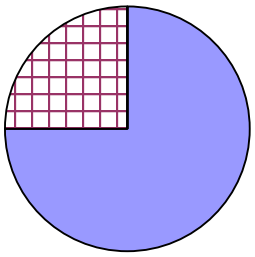
	今年度		昨年度
大変勉強になった	62.5%	（10件）	53%
勉強になった	37.5%	（6件）	41%
あまり勉強にならなかった	0%	（0件）	0%
まったく勉強にならなかった	0%	（0件）	0%
回答なし	0%	（0件）	6%

3,「事前学習会では、自分の意見を」



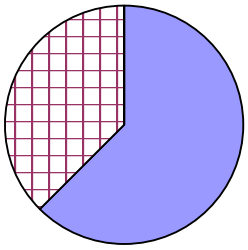
	今年度		昨年度
よく伝えられた	56.25%	（9件）	47%
伝えられた	37.50%	（6件）	35%
あまり伝えられなかった	6.25%	（1件）	12%
まったく伝えられなかった	0%	（0件）	0%
回答なし	0%	（0件）	6%

4,「子ども議会を通して、自分たちの思いを市長や教育長などに」



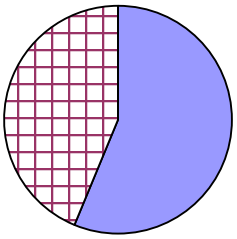
	今年度		昨年度
よく伝えられた	75%	（12件）	35%
伝えられた	25%	（4件）	59%
あまり伝えられなかった	0%	（0件）	0%
まったく伝えられなかった	0%	（0件）	0%
回答なし	0%	（0件）	6%

5,「自分たちの質問や提案に対する市長や教育長などの答えについて」



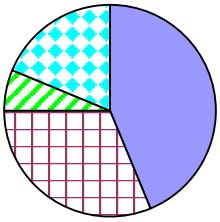
	今年度		昨年度
よく理解できた	62.5%	(10件)	17.5%
理解できた	37.5%	(6件)	70.5%
あまり理解できなかった	0%	(0件)	0%
まったく理解できなかった	0%	(0件)	0%
回答なし	0%	(0件)	12%

6,「子ども議会を開く目的の一つは、自分の意見をおとなに聴いてもらう(子どもの意見表明)ことなのですが、『おとなに聴いてもらうこと(子どもの意見表明)』について」



	今年度		昨年度
すごく大切だと思った	56.25%	(9件)	82%
大切だと思った	43.75%	(7件)	18%
あまり大切だと思わなかった	0%	(0件)	0%
大切だと思わなかった	0%	(0件)	0%
回答なし	0%	(0件)	0%

7,「もう一度この子ども議会に参加できるとしたら」



	今年度		昨年度
ぜひ参加したい	43.75%	(7件)	47%
参加したい	31.25%	(5件)	35%
参加したくない	6.25%	(1件)	6%
わからない	18.75%	(3件)	12%
回答なし	0.00%	(0件)	0%

8,「子ども議会を終えてよかったところや悪かったところ、改善してほしいことなど自由に感想や意見を記入してください」

＜子ども議会本番について＞
・初めは緊張したけど、話していたらリラックスしながら言えた。とっても楽しかったです。
・極力原稿用紙を見ずに伝えることに徹したかったのですが、やはり緊張すると早口になって、ところどころ抜けてしまったのが残念でした。この子ども議会を通して気づいたことを次に生かしていきたいです。
・私たちが意見を発表した後、すぐに市長、そして教育長から、今後そのことについてどうしていくかなどを言ってくださったのがよいと思いました。
・答弁は現状分析が多く、何がどうなるかは分かったようで少し不明な点もあった。また、他の議員の発言も面白かったが、次は市としての視点に立ってみたり、多方面からのアプローチをしてみたい。
・もうちょっと人数を増やす。
・発表の中でメモをしたりできて、ほかのテーマの勉強ができました。それを学校でも発表したいです。
・スムーズに進んでいてよかった。市長や教育長が提案に対してしっかり考えられていてうれしかった。
・市長や教育長の答弁は、とても理解でき、納得できるものだった。
・周りの市職員の方などが優しく声かけをして下さり、緊張している中でも安心して参加することが出来ました。市長や教育長の質問の返し方もご丁寧で良かったです。
・緊張したけど、やりきることができました。また、答弁で丁寧に説明していただき、よく理解できました。
・議会では真剣に答えていただき、私が知らなかった事も詳しく答えていただけてとても分かりやすく良かったです。
・事前学習会より詳しくわかった。しっかりと言えた。
・緊張した。市長もいろんな課題があって大変だなと思った。
・政治家になった気分でおもしろかった。
・市長や教育長さんの前で意見を言うのに緊張した。
・しっかりと聞くことができていた。答弁が分かりやすかった。

＜事前学習会について＞
・ヒアリングで、私が言った意見について、しっかり聞いてくれた。
・ヒアリングの際に、市役所の方々の仕事に感謝と関心の思いが芽生えました。こんなに真剣に目を見て聴いて下さりありがとうございました。
・2グループに分かれて「コロナウイルスが流行って変わったところ」を発表する時、自分の意見をしっかり伝えられたのでよいと思いました。
・ある程度、下調べをしていたことを市の状況にフィットする形のアイディアにまとめられたのでよかったです。
・とくになし

・よかったと思います。ですが、議長や副議長の司会の流れをもっと教えてほしかったです。
・ワークショップで自分の意見をどんどん出せて良かった。質問についてしっかり答えることができた。
・どんな事をするのか、よく分かり、本番で困らなかった。
・今まで他の学校の子と関わる機会も少なかったので交流できて良かったです。子どものことについても色々お話をきけて良かったです。
・ヒアリングで、しっかり自分の意見や思いを伝えられました。
・浜田先生のワークショップでは意見をたくさん言うという事を学びました。とても楽しく学びました。
・議会についてよく分かった。
・楽しかった。自分の言いたいことを言えて少しスッキリした。
・コロナの時の気持ちを伝えられてよかった。
・子ども条例などの宝塚市の取り組みについて知れた。
・自分たちが体験したことについて話し合ったことで、議員同士が話しやすくなったこと。

9.「市役所やおとなの人に子どもの意見を伝えるにはどのような機会があれば良いと思いますか。自由に意見を記入してください」
・学校などで、定期的にアンケートなどをして、大人に相談できる環境を作る。
・私自身子ども議会の存在は知っていましたが、何をするのか等、今回のように来てみないと分からないことがありました。私は来られたからよく知れたけれど、私のクラスの大半は存在さえも知らないのではないでしょうか。宝塚市のホームページを検索する機会も少ないので、学校にパンフレットを配ったり、存在をまず、知って伝えられることを知ってもらうことが必要なのではないでしょうか。市との関わりを実感できることがなかったので、今回知れてよかったです。
・子ども議会のように、緊張するけど1人ずつ発表して、それを受け入れてくれるような機会があればよいと思う。
・自分の意見を伝えるという機会はある程度あると思いますが、それらを聞いた上で討論する場は少ないと思います。ですから、このような場で話す機会、そして答えを共に模索する機会がもっと多くあるべきだと思います。
・子どもの意見を聞く日をつくる。
・手紙や電話など…市役所を学校・学年で訪れるときがあれば
・学校で社会のしくみや、その課題を解決するための意見を出し合う場があったらいいと思う。
・学校でのアンケート実施や子ども議会の様な事をする。
・気軽に伝えられるような雰囲気づくり。ポスターなどを作る。
・子どもの意見を自由に言えるワークショップ等、気軽に意見を言える交流会があれば良いと思いました。
・各場所に意見箱を設置する。
・子ども議会よりも気軽に話せるところがあるといいと思います。
・悩んでいる時や困りごとがある時。
インターネットや宝塚市のHPなどに意見箱を作って、誰でも意見を言えるようにする。
・もっと話す機会を増やす。子ども議会をこれからも開く。

◇　子ども議会広報

広報たからづか　８月号

第 21 回 子ども議会

1001064

未来を担う子どもがまちづくりのアイデアを提案

市内の子どもが子ども議員として、宝塚市のまちづくりについて考え、意見を発表することを通して、政治や行政に関心を持ってもらうとともに、市が広く子どもから意見を聴き、市政に反映させるため、子ども議会を開催します。

今年は市内の小・中・高校に通う16人の子ども議員が、意見や提案を発表し、市長や教育長が、実際の議会と同様に答弁します。

子ども議会の様子は YouTube でライブ配信しますので、ぜひご覧ください。

日　時 8月19日(金)13時半～16時

※一般の方は市議会議場での傍聴はできません

ライブ配信はこちらから

子ども政策課(☎77・2419 FAX77・2800)

集　合　写　真

（令和４年８月１９日子ども議会終了後撮影）